

2019年度 愛知地区分析化学講演会

“現場での分析化学最前線”

主 催：日本分析化学会中部支部

日 時：2019年12月9日(月) 13時20分～16時40分

会 場：中部大学名古屋キャンパス6階610講義室
(〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-14-22)

〔交通〕(1)JR中央本線「鶴舞」駅名大病院口(北口)下車すぐ
(2)地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100メートル
HP交通案内 <https://www3.chubu.ac.jp/about/location/>

参加費：無 料(事前の参加申込も不要です)

講 演：

1. イオンモビリティー高分解能質量分析法を用いた 合成高分子の分析 (名古屋工業大学)北川 慎也

衝突断面積や電荷数に基づいた分離を行うイオンモビリティースペクトロメトリー(IMS)と質量分析(MS)を組み合わせた、比較的分子量の大きな合成高分子の末端構造解析や、共重合体の組成解析の事例について紹介します。

2. 電子顕微鏡で観るミクロの世界 ～液体から固体まで～ (カネカテクノロジー)藤本 亜由美

一般的に真空中で状態が変化する物質を電子顕微鏡観察することは困難とされていますが、特殊な手法を用いて、水を含む物質や化粧品などのミクロ構造を観察した事例をご紹介します。

3. 機能性部材の問題解決に向けた総合分析 (東レリサーチセンター)佐藤 信之

屋外で使用される太陽電池パネルは初期の発電効率のみならず、長期間の耐久性も重要である。長期使用した太陽電池パネル部材の各種分析により総合的に劣化機構解析を行った事例を紹介する。

翌日12/10(火)には本講演会と連動した「第29回基礎及び最新の分析化学講習会」を同じ会場にて開催します。そちらもぜひご参加下さい。

問合先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

中部大学 応用生物学部 石田 康行

Tel & Fax: 0568-51-6324, E-mail: yishida@isc.chubu.ac.jp